

# 午前中には楽しく、芝生のお庭で伸び伸びと！

～保育園(乳児棟)で過ごす乳児たち、元気に、そして安全にお外で遊び、はじける笑顔に！～



4月に入ると、さすがに寒さも和らぎ、日中は汗ばむ陽気になることも。

そこで暖くなる10時過ぎから11時30分ごろにかけて、乳児棟西側にある「芝生のお庭」で子供たちが遊んでいます。

芝生の上なので、転んでもあまり痛くありません。だから自由に、伸び伸びと過ごしています。

備え付けの遊具で遊ぶ子、砂場でいろいろなものを作ろうとする子、先生と離れられず一緒に遊ぼうとする子、と様々です。

外遊びには、子どもの成長に欠かせない大切な要素がたくさん隠されています。室内に比べ、限りない情報量が存在する外での遊びは、子どもたちの「五感」を最大限に刺激し、脳の発達を促します。外遊びを通して、美しい景色を見たり、花の匂いを嗅いだり、直接手に取って触ったりすることは、健全な脳を作るのに欠かせない要素

です。季節の変化や鳥の鳴き声、草花の色の変化やさわった感触、小さい虫の発見など、外遊びならではの貴重な体験は、子どもにとって大切な宝物になると思います。

高ノ台幼稚園乳児棟では、このようなねらいのもとで「保育」を行っています。

【写真】砂場での遊びが大好きな子どもたち。スコップやバケツなどの道具も上手に使えるようになりました。そんな子どもたちを、先生方もしっかりと見守っています。

・遊びの中で、友達と行動を共にしたり、協力したりする姿が見られるようになります。

「一番下の写真」など、まさにそんな感じですね。

